

ノーサイト

北原 巖 男

中野先生は僕の中学校の

恩師。ホームルームでの口

癖は、「いいか、真つ暗闇

なところでも何がどこにあ

るか、整理整頓して分から

なければだめだ」

長野県松本市に居住、95

生還。その後も何度も南方

への輸送任務に就いた。戦

争末期には長崎にて被ば

く。戦後は引き揚げ業務に

邁進。仁川にたどり着いた

人々を祖国に運ぶため乗り

組んだ船は、米国から提供

された民船だった。「惨め

だったねえ」中野先生は眩

く。もはや日本に残る輸送

船はほとんどなかったので

ある。

これはそうした海の男の

一つの戦記である。

中野先生は、海の無い長

野県出身。海にあこがれ東

京高等商船学校機関科に進

学。卒業と同時に日本郵船

に就職。しかし時は戦争真

つた中。2か月後には海

軍少尉に任せられた。当時

は、民船の多くが戦争対応

のため海軍もしくは陸軍に

徴用されていた。

中野先生は、徴用船で何

度も沖縄や台湾、海南島、

マニラ、シンガポール等の

南方に兵員や補給物資を運

航だ。そのとき中野先生が

見た。そのとき中野先生が

見た。そのとき中野先生が

見た。そのとき中野先生が

見た。そのとき中野先生が

見た。そのとき中野先生が

見た。そのとき中野先生が

見た。そのとき中野先生が

動かしていた船は「勝開丸

(かちどきまる)」。もとも

とは1941年12月8日の

太平洋戦争開戦直後に日本

軍に拿捕されたアメリカの

輸送船「プレゼンント・ハ

リソン号」だ。「勝開丸」

と名前を変えて日本郵船に

引き渡されていた約1万ト

ンの大きな船である。

戦略物資のホーキサイト

を満載し、日本で働かせる

ためと聞いていたオースト

リア兵の捕虜も詰め込ま

れていた。上半身裸のまま

の姿には同情を禁じ得なか

った。乗組員がタバコを美

味しそうに吹かす様子をじ

つと見つめていた。さらに

船には若い女性たちも沢山

乗っていた。久しぶりに帰

国する従軍看護婦の皆さん

だった。

マニラ沖で日本に帰る3

隻と合流。途中から護衛に

長の声が響き渡る。「私か

最後の命令である。総員

モール大使。現(一社)日本

東ティモール協会会長。(公

社)隊友会理事

どのくらい時間がたった

ことだろう。真つ暗闇に船

元防衛施設庁長官。元東ティ

モール大使。現(一社)日本

東ティモール協会会長。(公

社)隊友会理事